たいとる

星名 藍乃介^{1,a)} 上原 哲太郎^{2,b)}

English title

RANNOSUKE HOSHINA^{1,a)} TETSUTARO UEHARA^{2,b)}



図 1: テツ太郎アイコン

1. はじめに

はじめにはじめにはじめにはじめにはじめにはじめには じめにはじめに

2. 背景

IoT 製品においては、製品出荷後のバグ修正が困難なシステムなど、開発時点でバグがあってはならないシステムが存在する [1].

3. 調査

テツ太郎アイコンを図1に示す.

1 立命館大学大学院情報理工学研究科

Graduate School of Infomation Science and Engineering, Ritsumeikan University

2 立命館大学情報理工学部

College of Infomation Science and Engineering, Ritsumeikan University $\,$

- $^{\rm a)} \quad hoshina@cysec.cs.ritsumei.ac.jp$
- b) t-uehara@fc.ritsumei.ac.jp

4. 提案手法

ていあんていあんていあんていあんていあんていあんて いあんていあん

5. 実装

じっそうじっそうじっそうじっそうじっそうじっそう じっそう

6. 検証

けんしょうけんしょうけんしょうけんしょうけんしょう けんしょうけんしょう

7. おわりに

おわりにおわりにおわりにおわりにおわりにおわりにお わりにおわりにおわりにおわりにおわりに

参考文献

[1] 卓喜多村,哲太郎上原:F*言語によるMQTTパケットパーサの開発と安全性評価,技術報告8,立命館大学大学院情報理工学研究科,立命館大学情報理工学部(2021).